



施設保有量の最適化・あり方検討の方向性

基本的な考え方

- 施設保有量を**人口1万人以上県内市町村**（18市町）の各施設区分（博物館、文化施設、図書館、保育所、庁舎等）ごとの**平均数**を目途に、令和7年度末までに統廃合を進めたい。



Ⅱ（４）① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：①博物館等）

【現状・課題】

- 施設の老朽化が進み、維持管理や修繕を要する費用はもとより、各施設の更新費用も増大することが見込まれる。
- 市町村公共施設等総合管理計画に基づき人口1万人あたりの施設保有数の平均を算出して施設評価項目により順位づけ集計。
- 適正施設数を反映すると、「博物館等」施設は、**6施設が削減の対象**。

【今後の方向性】

- 利用率が低い施設や維持管理コストが高くなっている施設は、利用実績を鑑みて、より効果的な活用ができるよう利用需要に応じた有効活用の検討が必要か。
- 指定管理者制度等の民間活力の導入、開館日の縮小をはじめとした運用面の見直しも選択肢のひとつ。

施設別状況表

	施設名	利用者数 (3カ年平均)	一般財源負担分 3カ年平均 (千円)	目指すべき姿
1	歌舞伎文化資料館	939	▲12,084	<p>8施設 ↓ 2施設程度が 適当か</p>
2	歌舞伎文化公園内施設	—	165	
3	民族資料館	0	0	
4	市川手すき和紙 夢工房	216	▲3,800	
5	市川三郷町立製紙試験場	8	▲173	
6	印章資料館	1,261	▲984	
7	大門碑林公園内施設	1,705	▲5,775	
8	花火資料館	273	▲631	



Ⅱ（４）① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：②文化施設）

【現状・課題】

- 施設の老朽化が進み、維持管理や修繕を要する費用はもとより、各施設の更新費用も増大することが見込まれる。
- 市町村公共施設等総合管理計画に基づき人口1万人あたりの施設保有数の平均を算出して施設評価項目により順位づけ集計。
- 適正施設数を反映すると、**2施設が削減の対象**。

【今後の方向性】

- 建物の老朽化や社会情勢の変化に応じて、指定管理者制度等の民間活力の導入、開館日の縮小をはじめとした運用面の見直しを図りながら、施設の有効活用、合理化を図る必要があるか。
- 「ふるさと会館」については開館日の縮小等、運用面の見直しを図りながら、施設の有効活用、合理化を図り、「文化と武道の館」については貸館のみに運用の見直しを検討するか。
- また、運用見直し後の一定期間で利用者数等を見極め、休止等さらなる見直しが必要か、ゼロベースでの検証が必要か。

施設別状況表

	施設名	利用者数 (3カ年平均)	一般財源負担分 3カ年平均 (千円)	目指すべき姿
1	森のふれあい館	1,233	98	<p style="text-align: center;">3施設 ↓ 1施設程度が 適当か</p> <p style="text-align: right;">3</p>
2	ふるさと会館	556	▲17,878	
3	文化と武道の館	1,855	▲4,997	



Ⅱ（４）① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：③図書館）

【現状・課題】

- 公共図書館は本館（R2生涯学習センター）、三珠分館（H15三珠児童館）、六郷分館（H16文京交流センター2F）の3館が存在。
- 公共施設等総合管理計画に基づき人口1万人あたりの施設保有数の平均を算出して施設評価項目により順位づけ集計。
適正施設数を反映すると、「図書館」施設は、**2施設が合理化の対象**。

【今後の方向性】

- 分館の曜日開館や開館時間の変更等、運用面の見直しを図りながら、人口減少や人口構造の変化を考慮し、本館への集約化、機能充実・強化について検討が必要か。

施設別状況表

	施設名	利用者 3年平均（人）	一般財源負担分 3年平均（千円）	目指すべき姿
1	市川三郷町立図書館 本館	15,728	▲30,363	3施設 ↓ 1施設程度が 適当か
2	市川三郷町立図書館三珠分館	2,095	▲4,155	
3	市川三郷町立図書館六郷分館	1,632	▲4,585	

※生涯学習センターの光熱水費分は、図書館、体育館、生涯学習館の面積按分とする



Ⅱ（４）① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：④小学校）

【現状・課題】

- 複式学級の小学校が3校存在。現在、町税等により町単教諭を配置し複式学級を解消しているが、小規模化による課題もある。
- 将来的に児童数の減少が見込まれる地域がある中、老朽化・経年劣化による小規模、大規模な修繕箇所が頻発している状況。

【今後の方向性】

- 教育環境の充実強化を図ることを大前提に、児童数の推移や社会情勢等の変化も視野に、統廃合も含め最適配置の検討が必要か。
- **（仮称）小中学校適正規模・配置審議会を早急に設置し**、児童数が減少している中で、**魅力ある学校づくりを推進していくための検討が必要か。**

小学校別 児童数の推移

	施設名	R5.4.1 生徒数	R6	R7	R8	R9	目指すべき姿
1	上野小学校	128	132	141	134	128	※（仮称）小中学校適 正規模・配置審議会を 設置し検討が必要か
2	大塚小学校	30	33	35	43	47	
3	市川小学校	305	308	288	282	270	
4	市川東小学校	8	8	7	6	4	
5	市川南小学校	35	42	40	39	42	
6	六郷小学校	94	80	74	69	58	



Ⅱ（４）① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：⑤中学校）

【現状・課題】

- 1学年が単学級となる中学校が3校存在し、小規模化が進んでいる。
- 生徒数が将来的に減少が見込まれる地域がある中、老朽化・経年劣化による小規模、大規模な修繕箇所が頻発している状況。

【今後の方向性】

- 教育環境の充実強化を図ることを大前提に、生徒数の推移や社会情勢等の変化も視野に、統廃合も含め最適配置の検討が必要か。
- **（仮称）小中学校適正規模・配置審議会を早急に設置し、生徒数が減少している中で、魅力ある学校づくりを推進していくための検討が必要か。**

中学校別 生徒数の推移

	施設名	R5.4.1 生徒数	R6	R7	R8	R9	目指すべき姿
1	三珠中学校	79	66	57	68	74	※（仮称）小中学校適正規模・配置審議会を設置し検討が必要か 6
2	市川中学校	165	142	153	150	173	
3	市川南中学校	20	19	14	17	18	
4	六郷中学校	59	55	58	49	16	



Ⅱ（４）① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：⑥給食センター）

【現状・課題】

- 本町の学校給食センターは3施設（三珠（H11）、市川大門（H3）、六郷（S55））で運営を実施している。
- 公共施設等総合管理計画に基づき人口1万人あたりの施設保有数の平均を算出し、適正施設数を反映すると、「給食センター」は**2施設が合理化の対象**。

【今後の方向性】

- 学校給食センターは、引き続き、安心安全な給食の提供と効率的な施設運営を図るとするが、児童・生徒数の推移を踏まえ、長期的な視点から集約化の検討を進める必要があるか。
- 3施設を1施設に集約することにより、町の財政負担の軽減を図るとともに、今よりもさらに安全で効率的に給食を提供することが可能か。
- 既存3施設の現状（設備・コスト比較、人員等）を十分把握し検証するなかで、他の自治体の事例等の調査検討を行い、学校の統合等も鑑み、集約化を基本軸と考えるか。

施設別状況表

	施設名	R5.4.1 児童・生徒数	一般財源負担分 3カ年平均（千円）	目指すべき姿
1	三珠学校給食センター	237	▲20,067	3施設 ↓ 1施設程度が 適当か
2	市川大門学校給食センター	533	▲49,102	
3	六郷学校給食センター	153	▲15,492	

※現施設の老朽化をみながら将来的に3施設を集約し、新施設の建設を検討したらどうか。



Ⅱ（４）①施設保有量の最適化・あり方検討

（類型別施設：⑦保育所）

【現状・課題】

- 保有している保育所の数は5施設【三珠（H6）、大塚（H14）、市川富士見（R2）、市川南（S53）山保（H2）（休止中）】
- 公共施設等総合管理計画に基づき人口1万人あたりの施設保有数の平均を算出し、適正施設数を反映すると、「保育所」は、**3施設が削減の対象**。

【今後の方向性】

- 保育所の適正規模・適正配置については、地域の子供数や各園の定員数、施設の整備、保育士配置も考慮し統合・再編を検討か。
- 人口増対策を実施していることを考慮しつつ、ニーズの多様化に伴い指定管理者制度等の民間活力の活用についても検討が必要か。

施設別状況表

	施設名	R5.4.1 園児数	一般財源負担分 3カ年平均（千円）	目指すべき姿
1	三珠保育所	44	▲30,362	<p>5施設 (休止中含む) ↓ 2～3施設程度が 適当か</p>
2	大塚保育所	32	▲35,405	
3	市川富士見保育所	96	▲83,308	
4	市川南保育所	19	▲19,377	
5	山保へき地保育所	0	0	



Ⅱ(4)① 施設保有量の最適化・あり方検討 (類型別施設：⑧高齢者福祉施設)

【現状・課題】

- 公共施設等総合管理計画に基づき人口1万人あたりの施設保有数の平均を算出し、適正施設数を反映すると、「高齢者福祉施設」は、**1施設が削減の対象**。
- 「高齢者生きがい活動支援通所事業所」は、自立高齢者(要介護認定を受けていない方)を対象としたデイサービスを提供している施設で、日常生活訓練など各種サービスを提供し、介護が必要とならないように予防することを目的としている。
- 「市川三郷町高齢者生産活動施設」は、高齢者福祉施設となっているが、実際的には高齢者福祉のための事業は実施されておらず、放課後児童クラブ(大同学童クラブ)として利用されている。

【今後の方向性】

- 民間等による類似サービスの拡大を踏まえ、「町福祉計画、介護保険計画等」との整合性を図りつつ、最適化の検討が必要か。その際には、民間移管・譲渡等の視点も必要か。

施設別状況表

	施設名	利用者数 (3カ年平均)	一般財源負担分 3カ年平均 (千円)	目指すべき姿
1	高齢者生きがい活動支援通所事業所	1,850	▲8,251	2施設 ↓ 1施設程度が 適当か
2	市川三郷町高齢者生産活動施設	300	▲92	



Ⅱ (4) ① 施設保有量の最適化・あり方検討 (類型別施設：⑨障がい者福祉施設)

【現状・課題】

- 公共施設等総合管理計画に基づき人口1万人あたりの施設保有数の平均を算出し、適正施設数を反映すると、「障がい者福祉施設」は、**1施設が削減の対象**。
- 「たんぽぽの家」は以前、障害者就労B施設へ場所を提供していたが、現在は物置となっている。
(建物が老朽化しており、既存施設を利用ことは不可)

【今後の方向性】

- 現在は物置となっており、当面は現状のままとするが、いずれは解体することが必要か。

施設別状況表

	施設名	利用者数 (3カ年平均)	一般財源負担分 3カ年平均 (千円)	目指すべき姿
1	三珠心身障害者作業所 たんぽぽの家	なし	0	解体→売却が 適当か



Ⅱ(4)① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：⑩その他社会福祉施設）

【現状・課題】

① みたまの湯

みたまの湯・のっぴいの館開館からまもなく20年を迎え、施設の老朽化により改修や設備の更新が必要となっている。
設置管理条例中の使用料についても一度も見直しが行われていない。
指定管理者制度により運営し、年間20万人ほどが来館。
農産物直売所などで地元農家の販路を確保できている。
指定管理者は令和6年度中に次期管理者を募集。

② 六郷ふれあいセンター

峡南圏域相談支援センターへ事務室を貸与。使用料として660千円/年の収入。過去3年間、その他の使用料納入実績はなし。
町としては、健康づくり事業（六郷地区健診・貯筋教室）等に使用。

③ 町民健康管理センター

町の事業（母子保健事業、住民健診等）に使用。過去3年間、その他の使用料納入実績はなし。

④ ニードスポーツセンター

施設管理運営業務を委託。今後の運営方針について、六郷の里運営委員会から答申。

⑤ 六郷の里つむぎの湯・いきいきセンター

健康づくり・交流コミュニティの育成を図るため、温泉施設を活用した拠点施設として整備。
収入面は入浴料（入湯税150円除く）、受託販売収入、自動販売機手数料等。
R4年度 歳入約11,740千円 — 歳出約74,170千円 = △62,430千円

【今後の方向性】

- 温泉施設は、指定管理者制度の活用等、民間の資金やノウハウを導入し、維持管理費の抑制が必要か。
- その他の社会福祉施設（六郷ふれあいセンター、町民健康管理センター、ニードスポーツセンター）は、利用者減少による住民ニーズを考慮し検討審議を進め、複合化・多機能化を図るか。

施設別状況表

	施設名	利用者数 (3カ年平均)	一般財源負担分 3カ年平均 (千円)	目指すべき姿
1	みたまの湯	183,891	▲47,986	<p>5 施設 ↓ 2 施設程度が 適当か</p>
2	六郷ふれあいセンター	—	▲1,739	
3	町民健康管理センター	—	▲4,142	
4	ニードスポーツセンター	11,782	▲22,127	
5	つむぎの湯	30,952	▲76,605	

(4) ①施設保有量の最適化・あり方検討 (類型別施設：⑪国保診療所・訪問看護ステーション)

【現状・課題】

- 国保診療所はH8.6月に開設、H20年から赤字に転落し、現在までの赤字額は延べ3億6千万円にのぼる。
- 三珠地区には医療機関がなく、交通手段の限られた高齢者にとっては貴重な医療機関であるものの、人口減少、患者数の減少による更なる減収が予想されるとともに、施設老朽化による修繕費等の増加が見込まれる。(三珠地区人口 H21 4,169人 → R4 3,667人)
- 訪問看護ステーション西八代は、H11年度に開設され、近年では一般会計からの繰り入れにまでは至っていないものの、基金の取り崩しが続いている状況。(市町村立の訪看Sは、県内で北杜市2箇所、韮崎市1箇所、市川三郷1箇所のみであり、うち2施設は北杜市立塩川病院、韮崎市立病院に併設されている。)

【今後の方向性】

- 市川三郷病院(無床診療所)の建替による外来機能拡充に伴い、国保診療所は休止も含めての検討が必要か。
- R5.4月より峡南医療センター企業団に訪問看護ステーションが新設されたことに伴い、訪問看護ステーション西八代を峡南医療センター企業団へ統合することにより、在宅医療体制の更なる強化が可能か。
- 両者とも町単独運営から峡南医療センター企業団への転換・連携強化を図ることにより、地域医療の中核を担う外来医療、在宅医療分野について更なる手厚い支援が実現可能か。

施設状況表

	施設名	利用者数 (3カ年平均)	一般財源負担分 3カ年平均(千円)	目指すべき姿
1	国民健康保険診療所	2,349	▲35,370	休止が適切か
2	訪問看護ステーション西八代	559	▲2,625	統合が適切か



Ⅱ（４）① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：⑫庁舎）

【現状・課題】

- 本庁舎は平成15年(築20年)に、三珠庁舎は昭和56年(築42年)に、六郷庁舎は平成2年(築33)に竣工した。
- 現在は、本庁舎に全機能が集約しておらず、三珠庁舎に「商工観光課」「農林課」、六郷庁舎に「子育て支援課」「いきいき健康課」が機能分散し業務を行っている。

【今後の方向性】

- 組織・機構の見直しや各課の再配置を行う中で、住民サービスの向上を図りつつ段階的・計画的に機能集約を図るとともに、効率的な事務執行ができる環境整備に向け検討が必要か。

施設別状況表

	施設名	住民票発行数(R4)	一般財源負担分 3カ年平均(千円)	目指すべき姿
1	市川三郷町役場本庁舎	4,031	▲49,750	<p>4施設 ↓ 段階的に1施設に 集約が適当か 14</p>
2	市川三郷町役場三珠庁舎	561	▲6,376	
3	市川三郷町役場六郷庁舎	544	▲8,111	
4	大同出張所	48	▲6,249	



Ⅱ（４）① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：⑬公営住宅）

【現状・課題】

- 町営住宅14団地17棟、町有団地2団地2棟、定住促進住宅7団地7棟を管理している。
- 町営住宅の内、**耐用年限30年(木造・簡平構造)**を川浦団地は**25年超過**、宮原1団地は**21年超過**しており、町公営住宅長寿命化計画において現在の入居者が全て退去した時点で**用途廃止**となっており、入居募集はしていない。
- 宮原2団地は**建設後43年が経過**、落居団地は**1.2号棟が建設後41年**、**3号棟が建設後42年経過**、**耐用年限は45年(簡二構造)**で**数年で耐用年限を迎える**ことになり、町公営住宅長寿命化計画において、現在の入居者が全て退去した時点で**用途廃止**となっており、入居募集はしていない。
- 宮原1団地は、浅間神社借用地が内637㎡で年8万円の借地料、川浦団地は薬王寺借用地で年35万円の借地料で契約しており、川浦団地敷地においては、全ての住宅解体後に薬王寺に返すこととなっている。

➡ **現在の入居者が全て退去した時点で用途廃止としているため具体的な年度は定まっていない。**

【今後の方向性】

- 入居戸数が極端に少ない団地については、耐用年数が超過し、施設老朽化により多額の費用をかけなければ修繕もできない状況にあるため、**積極的に退去を進めていく。**
- その他下記以外の団地については、入居募集を行わず、入居者の状況や老朽化等の状況をみながら退去を進めていく。
- 岩間住宅、富士見団地16号棟、富士見住宅1.2.3.4号棟においては、**計画的に施設改善事業を実施し維持管理**していく。
- 町有住宅市川団地は**耐用年限は70年(耐火構造)**で、**建築後50年が経過**、令和15年度からの次期、町公営住宅長寿命化計画で建替か用途廃止を検討する。

施設別状況表

	施設名	入居戸数	管理居室数	一般財源負担分 3カ年平均 (千円)	目指すべき姿
1	町営川浦団地	4	4	▲430	<p>8団地 ↓ 5団地程度が 適当か</p>
2	町営宮原団地	6	20	1,007	
3	町営落居団地	13	16	2,806	
4	町営岩間住宅	33	33	▲7,063	
5	町営富士見団地	10	16	▲297	
6	町営富士見住宅	109	116	▲48,063	
7	町有住宅市川団地 (旧雇用促進住宅)	74	80	11,674	
8	定住促進住宅	7	7	▲9,046	



(4) ①施設保有量の最適化・あり方検討 (類型別施設: ⑭放課後学童クラブ・児童館)

【現状・課題】

- 保有している放課後学童クラブは9施設、児童館は3施設。
- 市町村公共施設等総合管理計画に基づき人口1万人あたりの施設保有数の平均を算出して施設評価項目により順位づけ集計。適正施設数を反映すると、放課後児童クラブは**5施設が削減の対象**、**児童館は2施設が削減の対象**。
- どの施設も地区公民館や旧保育所、旧幼稚園などを使用しているため、老朽化が著しく修繕に要する費用が増大している。
- 施設を保有するための指導員56人の人件費、維持管理費を軽減する必要がある。

【今後の方向性】

- 9施設を小学校単位である6施設（小学校統廃合後はその学校数）に統合することで、施設・人件費の負担軽減を図るとともに、今よりも手厚いサポートをすることができる。
- 費用徴収についても検討が必要か。
- 国も「新・放課後子育て総合プラン」の中で、施設整備に対する国庫補助率の嵩上げなど、**小学校内での学童クラブの運営を強力に推進**。

【参考】

「新・放課後子ども総合プラン」に掲げる目標 (2018年9月14日公表)

- 放課後児童クラブについて、**2021年度末までに約25万人分を整備し**、待機児童解消を目指し、その後も女性就業率の上昇を踏まえ**2023年度末までに計約30万人分の受け皿を整備**。
- **全ての小学校区で**、両事業を一体的に又は連携して実施し、うち小学校区で**一体型として1万個所以上で実施することを目指す**。
- 両事業で新たに整備等する場合には、**学校施設を徹底的に活用**することとし、新たに開設する放課後児童クラブの**約80%を小学校区で実施**することを目指す。（施設整備に対する国庫補助金の補助率嵩上げ等、有利な財政措置あり）

放課後学童クラブ 施設別状況表

	施設名	利用者数 (3カ年平均)	一般財源負担分 3カ年平均 (千円)	目指すべき姿
1	上野放課後児童クラブ (みたま児童館)	845	▲810	<p>9 施設 ↓ 6 施設程度が 適当か</p> <p>※小学校内での学童クラブの運営を強力に推進か</p> <p>※小学校統廃合後はその 学校数</p>
2	大塚放課後児童クラブ (ふるさと交流センター)	892	▲586	
3	じどうかん学童クラブ(市川大門児童館)	1,150	▲810	
4	子ども館優友学童クラブ	3,682	▲2,443	
5	上地区公民館放課後児童クラブ (上地区公民館)	2,706	▲1,523	
6	たかた児童クラブ (高田地区公民館)	4,871	▲2,009	
7	やまほ放課後児童クラブ (山保地区公民館)	1,526	▲831	
8	だいどう学童クラブ (高齢者生産活動施設)	1,150	▲1,055	
9	六郷放課後児童クラブ (総合子どもセンター)	550	▲810	

児童館 施設別状況表

	施設名	利用者数 (3カ年平均)	一般財源負担分 3カ年平均 (千円)	目指すべき姿
1	みたま児童館	4,191	▲3,685	<p>3 施設 ↓ 1 施設程度が 適当か</p>
2	市川大門児童館	8,952	▲3,449	
3	総合子どもセンター	7,855	▲3,315	



Ⅱ（４）① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：⑮地区公民館）

【現状・課題】

- 各施設老朽化により、維持管理や修繕を要する費用が今後も増大することが見込まれる。
- 市川地区には5施設（中地区(教育委員会内)を含めると6地区）あり、公民館機能の集約の余地がある。
- 市川地区の館には、**公民館主事として会計年度任用職員を任用**している。館長報酬は年100千円/年。（富士川町は24千円/年）
- 適正数を反映すると、**2施設が削減の対象**。

【今後の方向性】

- 地域活動の低下を招かないことを考慮し、老朽化が著しい施設や利用頻度が低い施設については、今後の維持管理費、改修費用等を勘案し、運用見直し・自治公民館建物の活用等の検討が必要か。

施設別状況表

	施設名	利用者数 (3カ年平均)	一般財源負担分 3カ年平均(千円)	目指すべき姿
1	三珠地区公民館（総合福祉センター）	3,221	▲6,066	※職員配置等の運用見直しが必要か。
2	上地区公民館	2,251	▲5,532	
3	下地区公民館	2,483	▲6,798	
4	高田地区公民館	2,592	▲5,771	※建物については、大規模修繕が必要となる場合には自治公民館建物の活用等の検討が必要か。
5	大同地区公民館	1,559	▲3,821	
6	山保地区公民館	223	▲3,617	
7	六郷地区公民館（六郷町民会館）	3,878	▲3,656	

近隣市町の地区公民館状況

	施設名	中央公民館数	地区公民館			地区分館
			館数	館長	主事	
1	身延町	1 (館長:教育長)	3	3 会計年度任用職員	0	11 (貸館)
2	富士川町	1 (館長:会計年度任用職員)	0	0	0	0
3	南アルプス市	6 (館長:住民or指管理)	4 地区管理	4	0	4 (館長:地区住民)
4	南部町	1 (館長:生涯学習課長)	2 (貸館)	1 生涯学習課長兼務	0	
5	市川三郷町		7	7 地区住民	7 会計年度5、職員兼務2	0

地区公民館事業数

	施設名	年間事業数	主な事業	
1	三珠地区公民館 (総合福祉センター)	8 (R4は6事業中止)	マス釣り大会、大塚ふれあい祭り、グラウンドゴルフ大会ほか	
2	上地区公民館	31 (R4は8事業中止)	納涼会、公民館祭り、グラウンドゴルフ、県外研修、執行部会ほか	
3	下地区公民館	18	季節料理、グラウンドゴルフほか	
4	高田地区公民館	39 (R4は4事業中止)	趣味の講座、高田地区敬老会、盆踊り、運動会ほか	
5	大同地区公民館	30 (R4は3事業中止)	魚つかみ取り、公民館まつり、宝探しウォーキングほか	
6	山保地区公民館	13 (R4は4事業中止)	金魚すくい、地区運動会ほか	
7	六郷地区公民館 (六郷町民会館)	10 (R4は8事業中止)	ふれあい夏祭り、子ども料理教室ほか	20



Ⅱ（４）① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：⑩体育施設）

【現状・課題】

- 社会体育施設22施設あり、利用頻度の少ない施設がある。
- 維持管理費が小額な施設もあるが、利用頻度を考慮し**15施設の削減が対象**。

【今後の方向性】

- 住民ニーズ、利用者の動向、学校施設との機能分担を見極めながら大規模改修・更新時の規模縮小や他施設との統合や複合化・多機能化を検討し、保有量の縮減を図るか。
- 施設の老朽化が進み、かつ、耐震改修が未実施の施設、利用実績の減少・利用のない施設については、費用対効果等の様々な面から見直しを検討か。



Ⅱ(4)① 施設保有量の最適化・あり方検討 (類型別施設：体育施設【体育館・武道館】)

①体育館 施設別状況表

	施設名	利用者数 (3カ年平均)	一般財源負担分 3カ年平均 (千円)	目指すべき姿
1	大塚町民体育館	1,333	▲283	3施設 ↓ 1施設程度が 適当か
2	生涯学習センター体育館	13,399	▲1,132	
3	落居体育館	800	▲582	

※生涯学習センターの光熱水費分は、図書館、体育館、生涯学習館の面積按分とする

②武道館 施設別状況表

	施設名	利用者数 (3カ年平均)	一般財源負担分 3カ年平均 (千円)	目指すべき姿
1	武道館	2,433	▲531	現状維持が適当か (文化と武道の館と武道館の 集約を検討か)



(4) ①施設保有量の最適化・あり方検討 (類型別施設：体育施設【屋外体育施設・プール】)

施設別状況表

	施設名	利用者数 (3箇年平均)	一般財源負担分 3カ年平均 (千円)	目指すべき姿
1	三珠農村広場	3,533	▲12,396	<p>18施設 ↓ 8施設程度が 適当か</p> <p>※施設の規模、利用状況等を勘案の上、一部の施設については、維持管理を地域に移行、または廃止か。</p>
2	市川大門農村広場	1,000	▲349	
3	富士見スポーツ公園野球場	2,833	▲1,380	
4	町民上野プール	—	▲739	
5	町民大塚プール	—	▲275	
6	市川大門総合グラウンド	5,500	▲14,542	
7	山宮スポーツ広場	—	▲452	
8	葛籠沢スポーツ広場	—	▲25	
9	網倉農村広場	—	▲134	
10	富士川多目的スポーツ広場	100	▲2,506	
11	高田スポーツ広場	—	—	
12	笛吹川河川敷スポーツ広場	—	—	
13	大同地区スポーツ広場	—	▲7	
14	市川ゲートボール場	467	▲5	
15	岩下ゲートボール場	—	—	
16	楠甫ゲートボール場	—	—	
17	弓道場	400	▲9	
18	上野スポーツ広場	3,667	▲103	



Ⅱ（４）① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：⑰トイレ）

【現状・課題】

- トイレは10施設あり、主にJR身延線の駅に併設していることもあり、JRの乗客が利用している。
- 維持管理費が少額な施設もあるが、利用頻度を考慮し**1施設が削減の対象**。

【今後の方向性】

- 定期的な点検等を継続し現状維持とするが、老朽化が進むことが予測されるため、費用対効果等の様々な面から検討が必要か。

施設別状況表

	施設名	一般財源負担分 3カ年平均（千円）	目指すべき姿
1	JR甲斐上野駅トイレ	▲296	<p>10施設 ↓ 8施設程度が 適当か</p>
2	JR芦川駅トイレ	▲121	
3	鯉沢口駅前トイレ	▲190	
4	落居駅トイレ	▲238	
5	甲斐岩間駅トイレ	▲448	
6	市川本町駅トイレ	▲68	
7	一宮浅間神社つつじ公園トイレ	—	
8	四尾連湖公衆トイレ	—	
9	平塩熊野神社甲斐源氏発祥の地史蹟トイレ	—	
10	平塩正の木神社桜公園トイレ	—	



Ⅱ（４）① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：⑱公園1）

【現状・課題】

- 公園施設は25施設あり、主に管理棟によって構成されている。施設ごと維持管理費が少額な施設もあるが、利用頻度を考慮し**4施設が削減の対象**。
- 富士見ふれあいの森公園など、遊具を整備している公園は利用者が多いが、その他の公園は小規模の公園であり利用者は少ない。

【今後の方向性】

- 定期的な点検等を継続し現状維持とするが、老朽化が進むことが予測されるため、費用対効果等の様々な面から検討が必要か。
- **施設の規模、利用状況等を勘案の上、一部の施設については維持管理を地域に移行、または廃止か。**

	施設名	一般財源負担分 3カ年平均（千円）	目指すべき姿
1	神明公園	▲519	次頁参照
2	富士見防災公園	▲1,654	
3	市川公園	▲1,923	
4	富士見ふれあいの森公園	▲1,163	
5	桜の森公園	▲74	
6	桜の里公園	▲9	
7	波場公園	▲234	
8	上野いこいの広場	▲100	
9	花火公園	—	
10	高田ほたる公園	—	
11	上ノ原ちびっ子広場	▲52	
12	川浦地区薬王寺地内	▲2	



Ⅱ（４）① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：⑰公園②）

施設別状況表

	施設名	一般財源負担分 3カ年平均（千円）	目指すべき姿
13	八幡神社内遊園地	▲16	※施設の規模、利用状況等を 勘案の上、一部の施設につい ては、維持管理を地域に移行、 または廃止か。
14	上地区公民館内遊園地	▲2	
15	二宮地区内遊園地	▲16	
16	中央遊園地	▲94	
17	高田公民館遊園地	▲2	
18	藤田ちびっ子広場	▲2	
19	山保農村グラウンド	▲2	
20	黒沢地区ちびっ子広場	▲22	
21	法師倉遊園地	▲2	
22	黒沢巢鷹神社遊園地	▲2	
23	岩間住宅 西河原ポケットパーク	▲27	
24	三沢川公園	—	
25	梅の里公園	—	



Ⅱ（４）① 施設保有量の最適化・あり方検討（類型別施設：⑱集会施設）

【現状・課題】

- 集合施設（自治公民館等）は町内71施設。経緯、補助金・交付金等は多岐にわたる。精査が必要。
- 殆どの所有権は町。施設管理（鍵管理・清掃・光熱水費の支払）等運用は各地域で行っている。
- 築年数が経過しており、今後、修繕・取り壊し費用の補助金が増大する可能性が高い。

【今後の方向性】

- 集会施設の多くは、避難所に指定されているため**休止・集約等については基本的に現状維持**か。
- 引き続き、地域の管理徹底を図るが、補助金や指定避難所についても見直しが必要か。
 （現行：①修繕費が30万以上で公民館事業に支障をきたす場合。②下水道を接続する場合。→事業費の1/3及び30万円を限度）
 （見直し例：条件①、条件②、+③**指定避難所の場合** →事業費の1/3及び30万円を限度）

施設別状況表

	施設名	R5	R6	R7	目指すべき姿
1	三珠地区・集会施設 （自治公民館等17施設）	補助金見直し・検討	運用開始	—	（繕費用補助の削減等を検討しつつ） 現状維持が適当か
2	市川地区・自治公民館 （自治公民館等35施設）	補助金見直し・検討	運用開始	—	
3	六郷地区・自治公民館 （自治公民館等19施設）	補助金見直し・検討	運用開始	—	